うわぁ～～～!!!

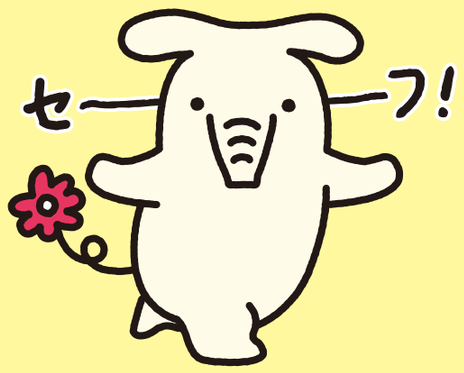
©よりぞう

家族じゃなかったぞう!!!

息子から急に電話がかかってくる、警察官が突然わが家にやってくる…最近こんなことはありませんか？もしかすると、それは「特殊詐欺のわな」かもしれません。

特殊詐欺とは、被害者を巧妙な手口で信頼させた上で、指定した預貯金口座へ現金を振り込ませ、大切な財産をだまし取る犯罪です。近年、高度な手法による被害が多発しています。

各店舗では、組合員・利用者の皆さまの安全を最優先に考え、引き続き被害防止に向けた声掛けなどの取組みを徹底してまいります。組合員・利用者の皆さまにおかれましても、被害に遭われることのないよう十分お気をつけください。



手口の傾向 その1

電話や郵便、メールにより、現金を預貯金口座に振り込むよう要求してきます。「オレオレ詐欺」「架空請求詐欺」「融資保証詐欺」など、犯罪の手口が複雑化しているのが特徴です。最近では、新型コロナウイルスを名目にした被害も発生しています。

対策のポイント

請求された場合は、ご家族などに連絡を取り、本当に支払う必要のあるものかどうか、必ずご確認ください。**一人で判断してすぐに振り込むことは、絶対に行わないでください。**

手口の傾向 その2

警察官や銀行協会職員、JAなどの金融機関の職員を名乗り、電話などでアプローチしてきます。「貯金口座が不正に利用されています。あなたに代わって貯金を取り戻します」などと言って、キャッシュカードを預かったり暗証番号を聞き出したりして、現金を引き出します。

対策のポイント

警察官や銀行協会職員、JAなどの金融機関の職員は、**店舗外などでキャッシュカードを預かったり、電話で暗証番号をお聞きしたりすることはいたしません。**

不審なことがありましたら、お取引のあるJAまでご連絡ください。

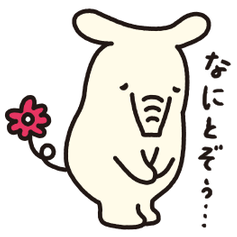
JAバンクの被害防止に向けた店舗での取組み

本人確認の徹底

JA・信連では、口座開設などにあたり、法律の定めに基づいたご本人の確認をさせていただいております。盗難通帳・偽造印鑑などにより、組合員・利用者の皆さまの大切な財産が不正に引き出されることを防止するため、お取引の際に、改めてご本人の確認を求めることがございます。

声掛けの徹底

ATM付近で携帯電話を利用している方や、窓口で多額の資金を引き出そうとしている方へは、資金のご利用目的などをお伺いすることがございます。



何卒ご理解と
ご協力を賜りますよう
お願い申しあげます。

JAバンク